

2024 年度北里大学同窓会事業報告

学校法人北里研究所及び北里大学との連携を推進し、母校の発展に寄与するとともに、本会の一層の充実・発展に向けて、2024 年度の事業を下記のとおり展開する。

1. 北里大学同窓会と 7 学部同窓会長との意見交換会の開催（継続・全体）

各学部同窓会長宛に議題の提出を依頼したところ、薬友会（薬学部同窓会）から 2 件の議題が提出されたため、2024 年度第 3 回常任理事会及び第 3 回理事会に付議し、意見交換会は開催しないこととした。

各学部同窓会長は全員が今期の常任理事又は理事を兼ねているため、年間 5 回開催される本会理事会や毎年末に開催される学校法人北里研究所との懇談会において、情報共有や議論の場が十分にあることから、実質的にはこれらの会議が意見交換会として機能している。

2. 学校法人北里研究所との懇談会（継続・全体）

次のとおり開催し、活発な意見交換が行われた。

開催日 2024 年 12 月 7 日（土）

場 所 京王プラザホテル（新宿区西新宿 2-2-1）

出席者 学校法人北里研究所

高橋副理事長、砂塚学長、常任理事、事務本部長 計 7 名

北里大学同窓会

千葉会長、副会長、常任理事、理事、監事 計 31 名

内 容 1. 学校法人北里研究所の近況報告（北里研究所理事長）
2. 北里大学の近況報告（北里大学学長）
3. 北里研究所、北里大学出席者自己紹介
4. 北里大学同窓会出席者自己紹介
5. 北里大学同窓会の近況報告（北里大学同窓会会長）
6. 意見交換

3. 北里研究所創立 110 周年・北里大学創立 60 周年記念募金への寄付（新規・全体）

①学校法人北里研究所と北里大学同窓会との懇談会（2024 年 12 月 7 日）席上において贈呈式を執り行い、千葉会長から学校法人北里研究所 高橋副理事長（浅利理事長の代理）に対し寄付目録を贈呈した。

②上記計画③の代理徴収依頼結果に基づき継続検討する。

③2024 年 9 月 30 日付で北里大学 PPA 会長及び北里大学同窓会会長の連名により、学校法人北里研究所理事長及び北里大学学長宛の「PPA 会費及び同窓会費の代理徴収」を依頼した。2025 年 3 月 21 日付の回答書で「代理徴収を承る」との回答を得た。

4. 北里柴三郎記念館への寄付（新規・全体）

北里大学同窓会 2024 年度第 2 回理事会（2024 年 6 月 29 日）席上において贈呈式を執り行い、千葉会長から北里柴三郎記念館（熊本県小国町）の北里英郎館長に対し寄付目録を贈呈した。

5. 新入生及び新卒業生への記念品の贈呈（継続・企画）

新入生にはボールペン、シャープペンのセットとクリアホルダー（明治村に移築保存されている北里研究所本館画像入り）5枚のセットを贈呈した。

卒業生には北里柴三郎博士の胸像をレーザー彫刻したペーパーウエイト（酸化鉛を含まないエコクリスタル使用）を贈呈した。

6. 同窓会会員相互の交流促進及び会費納入率向上対策（継続・企画）

昨年度に引続き、会費納入率向上対策の一環として、会費を納入した同窓生を対象にプレゼント企画を実施した。

募集期間 2024年10月18日～11月20日

返礼品 新米

応募数 260名（うち会費未納等16名）

有効数 244名

当選数 100名

7. 同窓会主催公開講演会（第61回）の開催（継続・企画）

次のとおり公開講演会を開催し、同窓生及び一般市民が参加した。講演は好評を得て終了した。

開催日 2025年1月11日（土）

会場 白金キャンパス 大村記念ホール

講演者 パリパラリンピック 自転車競技 金メダリスト（東京・パリ）

薬学部卒業生 杉浦 佳子 選手

演題 「生きる希望が湧くことば」

参加者数 会場出席68名、ライブ配信10名

8. 同窓会各種奨励賞の募集及び広報の充実（継続・企画）

各奨励賞を次のとおり授与することとした。

（1）研究奨励賞 2名

松山 紘之（マツヤマ ヒロユキ） 獣医学部 生物環境科学科 2017年3月卒業

研究課題名 ニホンジカの分布拡大及び個体数増加がマダニ媒介感染症リスクへ及ぼす影響

山田 太平（ヤマダ タイヘイ） 海洋生命科学部 海洋生命科学科 2017年3月卒業

研究課題名 遡河性サケ科魚類の産卵適地推定および再生産効率規定要因の解明

（2）準会員課外活動奨励賞（計3団体）

【全学北里会】

北里会体育会 バドミントン部

北里会文化会 ニューカウントジャズオーケストラ（N.C.O）

【学部北里会】

獣医学部北里会 排球部

（3）特別奨励賞

五十嵐久佳（イガラシ ヒサカ） 医学部医学科 1979年3月卒業

「日本頭痛学会、国際頭痛学会での研究・論文発表をはじめ、一般市民、高校教諭、小中学校の養護教員向けの講演、講習やTVの健康番組に数多く出演するなど、頭痛の正しい理解と対処法をわかりやすく解説し普及させた。これらの活動を通じて日本の頭痛診療を飛躍的に進歩させ北里大学の名を広く知らしめた功績は大きい。」

9. 同窓会所管規程の整備（継続・企画）

次の1件の規程について、社会状況の変化、業務の効率化を考慮し改正・施行した。

北里大学同窓会出張旅費規程（2024年6月29日改正・施行）

10. 卒業生に熊本県小国町訪問への働きかけ（継続・企画）

初日の北里柴三郎記念館では、20分ほどの映像が上映された後、北里英郎館長による説明や案内をいただき、博士の生涯と偉業を改めて理解する機会となった。また、好天に恵まれ、敷地内の貴賓館2階から北里柴三郎博士が愛した涌蓋山（わいたさん）と里山を一望することができた。

2日目は曇り空であったが、九重夢大吊橋や阿蘇外輪山の最高峰（936m）大観峰では、雄大な風景を楽しむことができた。その後、熊本空港と熊本駅にて解散し無事に旅行を終了した。

参加者全員から徴収したアンケート結果によると、全員から旅行は満足であったとの回答の他、「卒業学部を超えて多くの皆さんと交流ができてとても有意義だった。」「北里柴三郎先生の生い立ち、人生について深く知ることができた。新しい出会いがあった。」などの言葉が寄せられた。

参加者 34名（ワーキンググループ4名を含む）

行 程 1日目＝2025年3月7日（金）

熊本空港集合 → 北里柴三郎記念館見学 → 小国町杖立温泉宿泊・懇親会

2日目＝ 同 3月8日（土）

宿舍発 → 九重夢大吊橋観光 → 昼食（小国町） → 大観峰観光 → 熊本空港解散
→ JR熊本駅解散

11. 支部長会の開催（継続・支部）

第51回支部長会を次のとおり開催し、活発な意見交換が行われた。

開催日 2024年10月19日（土）

場 所 ハイアット リージェンシー東京（新宿区西新宿2-7-2）

出席者 24支部24名、全学同窓会15名

内 容 1. 北里大学同窓会からの報告（各委員会報告等）
2. 北里大学の近況報告
3. 各支部からの報告（自己紹介、近況報告、支部企画行事等）
4. 意見交換

12. 支部同窓会等への支援（継続・支部）

（1）28支部中が20支部で支部総会（全て対面）を開催し、会報は4支部が発行した。

（2）支部の企画行事は、沖縄県支部及び新潟県支部で開催された。

13. 同窓会報の発行（継続・会報）

第 93 号を 2024 年 10 月 18 日に発行（70,600 部）した。表紙写真は、春に竣工した看護学部の新校舎外観を掲載した。今号は、冒頭に千葉貴子 第 20 期会長からの挨拶、新役員及び新代議員一覧、さらに 7 月 1 日付で就任された浅利靖 北里研究所理事長、砂塚敏明 北里大学学長からのご挨拶を掲載した。

14. 同窓会 Web サイトの管理運営（継続・HP）

（1）掲載記事の更新作業は 26 回であった。

（2）Web サイトへのアクセス件数は 7,357 件であった。

15. 会員情報の管理運営（継続・名簿）

会員情報の管理にあたっては、関係各所との連携を図りながら、個人情報保護を踏まえ会員情報を効率的かつ有効的に管理・活用した。

以 上